

「No LABEL, No LIFE」

久保井インキ(株) 代表取締役

久保井 伸輔



ラベル新聞社さまの50周年を心からお喜び申し上げます。
当社とラベル業界の関わり

りについて、昭和21年に創業した当初は、大阪を中心にオフセットインキの販売を行っていましたが、2代目社長でもある私の父が「生産量があるという素材メーカーがこの規模では限界」として、大量生産型のオフセットインキ事業の将来に不安を感じたことが始まりでした。インキの消費量は少量ながらも、大きな可能性を感じたラベル業界向けに特化した製品を開発しようと考えたのです。

当時は、出版・商業印刷向けのヒートセット型オフ

輪インキの生産が多く、このインキをラベル業界でも使えるようにカスタマイズして熱風乾燥機とセット販売したところ、東京を中心に相当量が売れたのです。そのため、さらにラベル業界へ注力し、シール・ラベル用のUVインキを製品化しました。平圧機が中心だったラベル業界にロータリー印刷機とセットで販売することで基盤を築き、その後のラベル業界の発展とともに、当社の今があると考えています。

今後のラベル業界に期待することとして、業界内には全国の若手経営者グループがいくつも存在し、切磋琢磨されています。そこで議論を重ねて30年先のラベル業界のあるべき姿を考え、未来図を作っています。

れば、と考えています。描かれた未来図へのロードマップを検証し、各協会の青年部メンバーみんなで10年後、20年後、30年後のそれを見に行ってみる。そんなラベル業界であってほしいと思います。
われわれは運命共同体、「No LABEL, No LIFE」です。